

事務事業名		未普及地区解消調査事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	水道局	担当課	工務課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	計画係	担当課長名	大澤信夫	
	施策	4 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 水道事業の安定した経営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
		水道									
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業			市単独事業			
	事業区分		任意的事業・義務的事業		任意的事業			任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	18年度～	年度	根拠法令 条例等	実施方法		一部委託			
						事業分類		計画策定・管理事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
上水道水の未普及地域について、地域住民に安全な飲料水を供給できるシステムを、調査研究する。			H26年10月28日 先進地である浜松市を視察し取り組みを聞く。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			調査委託件数	件	0	0	0	0	0	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
秋山地区住民			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			秋山地区の人口	人	295	294	294	294	294	
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
秋山地区の住民が安全な水を利用できるようにする。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			秋山地区の給水普及率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
健全な経営がされている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			総収支比率(総収益/総費用)	%		113.5	105.9	105.2	103.4	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	0	0	0	0	0			
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
	人件費	人	1	1	1	1	1			
のべ業務時間	時間	480	480	480	480	480				
人件費計(B)	千円	1,868	1,892	1,892	1,892	1,892				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,868	1,892	1,892	1,892	1,892				

事務事業名	未普及地区解消調査事業	担当部	水道局	担当課	工務課	担当係	計画係
-------	-------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	合併前の葛生町において、未普及地域である秋山地区の整備は、課題となっていた。合併に際し、葛生町町長からの、重要な引継ぎ事項となっている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	福島原発事故により、未普及地域で水源となっている沢水の、放射能汚染が心配になっている。また、野生動物が頻繁に出てくるようになっており、その糞尿による、沢水の水質の悪化が懸念されている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	議会等で、事業化の進捗状況、及び事業化を早めるように強く要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 施策は水道水の安定供給であり、市民が安全な水を確保できるように調査検討することは、施策に合致する。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 水道法第6条2項に「水道事業は原則として市町村が経営する」とあり、このことから公共関与の妥当性がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 市民に安全な水を供給することは、市の責務であり、見直す必要はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 水道事業・地域住民の費用対効果を最大限活かすための調査であり、効果を上げるためには、継続して調査を行うしかない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 人件費のみの経費で、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 現在は調査の段階で、方針が確立していないため、人件費のみとなっている。事業化の場合は受益者負担が出てくる。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
地域住民が、安全な水を確保できる、現実的な手法が見出された時。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 																							